



2024年5月10日

各 位

会社名 小池酸素工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 小池 英夫
(コード番号 6137 東証スタンダード)
代表取締役副社長
問合せ先 執行役員管理部長 富岡 恭三
(TEL 03-3624-3111)

中期経営計画「NEXT STAGE 2026」策定に関するお知らせ

当社は、2027年3月期を最終年度とする中期経営計画「NEXT STAGE 2026」を策定しましたので、下記の通りお知らせします。

記

1. 中期経営計画策定の背景

当社は1918年の創業以来、ガス・溶接・切断の総合製造・販売会社として世界市場での顧客満足と信頼を獲得することを経営理念として事業活動を展開してきました。

そうした中、2019年に中期経営計画を公表後、新型コロナウイルス感染症の影響による経済環境の急変等を考慮し、2021年に前中期経営計画「POST100&NEXT100 TRY-2023」として施策の一部と計数計画を見直して、企業努力を重ねてまいりました。その結果、2024年3月期の連結業績は3期連続の増収増益となり、目標とする指標をいずれも達成することができました。

昨今の世界情勢は不透明感がますます強まっており、加えてテクノロジーの進化や労働市場の変容等、我々を取り巻く環境に大きく影響を与える急激な変化が進行しております。こうした状況の中、前中期経営計画の成果と課題を踏まえ、2027年3月期を最終年度とする中期経営計画「NEXT STAGE 2026」を策定いたしました。

当社は、中長期的視野に基づく発展を念頭に、変化し続ける世界市場に向けた新技術・新製品の開発及び販売体制の強化に取り組むとともに、よりグループとしての結束力を高め、変革を実行し、環境の変化に対応してまいります。そのために必要な将来の成長に向けた設備投資、事業領域を広げる投資、DXや人材への投資などを着実に実行し、モノづくりの未来に必要な不可欠な存在として新たな付加価値を創造して、社会の持続的発展に貢献してまいります。

2. 中期経営計画の主要課題

(1) 世界市場での顧客満足の実現と収益基盤の強化

- ① 魅力ある製品の提供と顧客サービスの高度化を通じた顧客利益向上への貢献
- ② 新たな収益事業の模索

(2) 持続的成長に向けた経営基盤の強化

- ① 人的資本経営の強化による多様な人材の活躍推進
- ② DX推進により、お客様の経営課題解決への貢献と、当社業務のリエンジニアリングを実現
- ③ サステナブル経営の推進

(3) 資本コストと株価を意識した経営の実現

- ① 中長期的な視野に基づく成長と経営基盤強化に向けた着実な投資の実行
- ② 株主還元強化と株主・投資家とのコミュニケーションの充実

3. 目標とする指標

| 分類 | 指標 | 2024年3月期 (実績) | 2027年3月期 |
|---------|----------------|------------------|----------|
| 成長性/収益性 | 連結売上高 | 513億円 | 570億円 |
| | 経常利益 | 51億円 | 63億円 |
| | 経常利益率 | 10.0% | 11% |
| 効率性 | ROE | 8.5% | 10% |
| | ROIC (経常利益ベース) | 9.4% | 10% |
| 株主還元 | 配当性向 | 27.5% (予) | 30%以上 |

中期経営計画「NEXT STAGE 2026」の詳細は、当社ホームページ
([Koike: IR 情報 \(koike-japan.com\)](http://koike-japan.com)) をご覧ください。

以上